

9 産業環境整備の方針

～地域の環境と伝統・文化を活かした産業のあるまちを再現するために～

1. 産業の状況

(1) 商業の状況

- 商業統計調査によると、平成9年から14年にかけて、従業者数は12.8%増加しましたが、商店数は4.0%、年間販売額は14.2%の減少となっています。
- 繁華街の平成9年から14年の推移では、鎌倉駅西口で商店数、年間商品販売額等が増加している一方で、大船駅東口では、店舗数が1割減、年間商品販売額が2割減となっており、地域ごとの較差が見られます。

表 商業の推移
(資料：商業統計調査)

		平成9年	平成14年	増減率
総数	商店数(店)	2,120	2,035	▲4.0%
	従業者数(人)	11,502	12,974	12.8%
	年間販売額(千万円)	25,817	22,156	▲14.2%
卸売業	商店数(店)	165	145	▲12.1%
	従業者数(人)	1,102	1,365	23.9%
	年間販売額(千万円)	6,841	5,843	▲14.6%
小売業	商店数(店)	1,955	1,890	▲5.3%
	従業者数(人)	10,400	11,609	11.6%
	年間販売額(千万円)	18,976	16,313	▲14.0%

表 繁華街地域別・小売業の推移
(資料：商業統計調査)

		鎌倉駅東口	鎌倉駅西口	大船駅東口	ルミネウイング	長谷
商店数(店)	H9	286	165	148	104	65
	H14	289	171	129	91	73
	増減数	1.1%	3.6%	▲12.8%	▲12.5%	12.3%
従業者数(人)	H9	1,469	596	1,049	600	218
	H14	1,447	877	1,223	655	239
	増減数	▲1.5%	47.2%	16.6%	9.2%	9.6%
売場面積(m ²)	H9	18,721	7,897	21,161	6,334	2,232
	H14	18,201	9,380	19,559	6,004	3,400
	増減数	▲2.8%	18.8%	▲7.6%	▲5.2%	52.3%
年間商品販売額(千万円)	H9	2,797	1,026	2,606	1,143	197
	H14	2,318	1,049	2,053	991	178
	増減数	▲17.1%	2.2%	▲21.2%	▲13.2%	▲9.6%

(2) 工業の状況

- 工業統計調査によると、平成9年から15年にかけて、事業所数は14.1%、従業者数は27.1%、製造品出荷額の総額は11.4%の減少となっております。

表 製造業の推移
(資料：工業統計調査)

	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額の総額(百万円)
平成9年	149	11,710	600,325
15年	128	8,534	531,650
増減率	▲14.1%	▲27.1%	▲11.4%

(3) 農・漁業の状況

① 農業の状況

- 耕作面積は、平成2年から平成7年にかけて22ha減少していますが、平成7年から平成12年にかけては、3haの減少にとどまっています。
- 農家数と農業人口の推移も同様に、減少傾向ですが、下げ幅は緩やかになっています。
- 生産緑地地区は、平成15年度末で146箇所、18.1haで、平成9年度末の151箇所、18.4haと比較すると、ほぼ横ばいとなっています。

表 耕地面積の推移
(資料：農業センサス、単位：ha)

	総面積	田	畑	耕作地
平成2年	102	9	85	8
7年	80	5	68	7
12年	77	5	64	8

表 農家数と農業人口の推移
(資料：農業センサス)

	農家数	農業人口
平成2年	264戸	1,327人
7年	203戸	968人
12年	180戸	876人

② 漁業の状況

- 総漁獲高は、平成9年から平成15年にかけて32.7%(148t)減少しています。
- 組合員数は、平成9年から平成15年にかけて18人減少しています。

表 漁獲高の推移
(資料：産業振興課、単位：t)

	総漁獲量	魚類	水産動物類	藻類
平成9年	452	194	84	174
15年	304	162	18	124
増減率	▲32.7%	▲16.5%	▲78.6%	▲28.7%

表 漁業協同組合員数の推移
(資料：産業振興課)

	組合数	組合員数
平成9年	2組合	154人
15年	2組合	136人

2. 主な動向と取り組み

部門別の方針（本編 108 ～ 110 ページ）に掲げる具体的な方針についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

方針 1) 商業系市街地形成の方針

拠点整備と商店街の活性化に取り組んだ

- 古都中心市街地まちづくり構想の策定 (H12.8)、深沢地域の新しいまちづくり基本計画策定 (H16.9) と用地の取得 (6.1ha) 暫定利用をそれぞれ行いました。
- 由比ガ浜通り（下馬～六地藏、H10.7）で景観形成地区を指定したほか、モデル商店街整備事業を推進しています。また、由比ガ浜中央で景観形成地区 (H17.1) の指定を行いました。
- 大船駅周辺地区都市づくり基本計画（案）を改定 (H15.1) し、横浜・鎌倉両市域にわたる商業系土地利用の方針を定めました。
- 大船駅東口第一種市街地再開発事業（第2地区）の新基本構想を確定しました (H15.8)。

方針 2) 産業系市街地形成の方針

- 産業振興計画の策定を行いました (H12.5)。

方針 3) 農業、漁業の振興

市民農園の整備のほか、イベント等を実施した

- 市民農園の整備のほか、腰越漁港改修の検討を行い、「鎌倉市腰越漁港整備基本計画」を策定 (H13.8) しました。
- ソフト面の取り組みとしては、鎌倉野菜の PR、秋の収穫まつり、環境保全型農業の推進に取り組んでいます。

方針 4) 地域産業の育成

- 伝統産業（鎌倉彫）の維持発展のための支援を行っています。

3. 重点的に取り組む内容

重点

1) 商業の振興

年間販売額が減少しており、市民の多様な価値観やニーズに対応した商業機能の充実を図るとともに、観光を活かした商業機能の活性化が重要です。

(1) ゆっくり安心して買い物ができる歩行空間の確保

- 歩道の拡幅や電線類の地中化等、各種施策の検討により、ゆっくり安心して買い物ができる歩行空間の確保を図ります。

(2) 個性を活かした商店街の形成

- 景観形成地区の指定による特徴的なまち並み形成やモデル商店街整備事業の推進など、個性を活かした魅力ある商店街の形成を図ります。

(3) 商店街の活性化

- 「商店街活性化プログラム」（鎌倉市産業振興推進協議会・商店街振興研究会が平成 15 年 9 月に提言）に基づき、商店街の集客力・競争力を高めます。

重点

2) 工業の振興

製造品出荷額が減少し、工場の撤退など産業の空洞化が進む中で、基幹産業としての工業の維持・発展を図る施策を検討する必要があります。

(1) 工業振興策の検討

- 工業系地域内では、現況の産業系の土地利用を継承し、その維持・強化を図るとともに、鎌倉ブランドを活かした企業の参入の誘導及び市外への流出防止、企業誘致のための施策を検討します。

重点

3) 農業、漁業の振興

本市の農業者や漁業者の減少など、第一次産業が持つ問題点を踏まえた振興策についての検討が重要です。

(1) 農地の保全

- 関谷などの市街化調整区域におけるまとまった農地は、引き続き都市農業の拠点としての環境整備を図ります。
- 市民農園としての活用を図るなど、地域に身近な農地の保全を図ります。

(2) 漁業振興、防災対策を踏まえた腰越漁港の整備

- 腰越漁港整備基本計画に基づき、関係機関と協力し、市民参画と情報公開を行い漁業振興及び防災対策を踏まえた腰越漁港の整備を図ります。

(3) (仮称) 鎌倉漁港の整備の検討

- 材木座海岸や由比ヶ浜海岸における漁業振興や湘南港(江ノ島)に頼らない救援物資基地の確保等、防災上の観点から、(仮称)鎌倉漁港の整備について検討します。

(4) 地産地消の推進

- 地場産品(農産物・水産物)に「鎌倉産」であることの明示やPRを行うブランド事業の推進や朝市の実施などにより消費を促進するとともに、域内販路の拡大について支援します。